

## ボーイング 787 型機のトラブルに関する航空安全会議見解

今般、燃料漏れやバッテリーからの出火・発煙という重大な不具合が連続し、全面的に運航が停止されたボーイング 787 型機の安全性に関して航空安全会議は重大な懸念を表明する。

日本航空機がボストン空港で起こした燃料漏れは離陸前に発見されたが航空機運航の安全上、重大な問題であった。

日本航空機のボストン空港でのバッテリー火災、全日空機のバッテリーからの発煙による高松空港への緊急着陸についても重大な事象である。

ボストンにおいては旅客降機後の出火であったこと、山口宇部空港を離陸した直後に煙が発生したものの速やかに高松空港に緊急着陸が行われたことにより大きな人的被害は発生していないが、リチウムイオンバッテリーからの出火・発煙は安全上重大な問題である。

ボーイング 787 型機という最新で複雑なシステムに対して行われる原因究明は非常に大掛かりな作業となることが予想されるが、不具合に対する徹底した原因究明が行われ、有効な再発防止策が講じられるまではボーイング 787 型機の運航が再開されるべきではない。

2013 年 2 月 2 日